

ダイカスト金型向け

KANUC OX

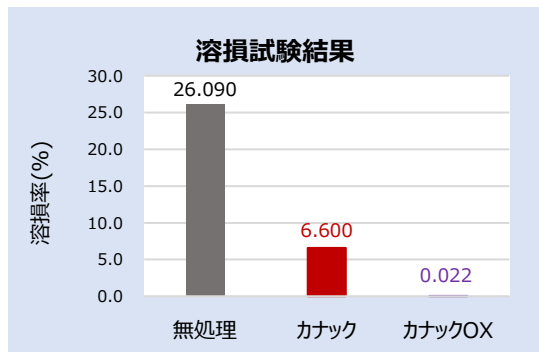
カナック オーエックス

カナック処理の特徴はそのままに、表面の酸化層がFeとAl・Siとの合金化を抑制。溶損・カジリを抑制します。付きまわり性が良く、離型性にも優れ、ヒートチェック対策にも有効。また、マットな黒色の仕上がりは画像認識装置部品等の反射防止にも利用可能です。

効果

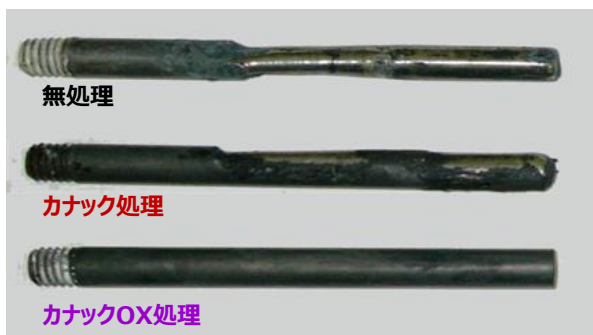
耐溶損・カジリ抑制・耐焼付き・耐ヒートチェック

■ アルミ溶湯による溶損試験



試験条件 材質:SKD61(48HRC) アルミ:ADC12
溶湯温度:700℃ 回転数:200rpm 試験時間:連続30分

■ 溶損試験後 写真



■ 実績評価例

事例	従来状況	カナックOX処理後の状況
入子ピン (SKD61) ハイシリコンアルミに使用	PVD(CrN) 1,530ショット、CVD(三層) 530ショット 窒化処理 540ショットで溶損・カジリ発生。再研磨	先端の溶損、カジリが減少 12,000ショットまで延命し、生産性も改善
入子 (SKD61) ADC12使用	焼付き・溶損発生により、無処理：7,000ショット 窒化処理：16,000ショットで寿命	溶損、焼付きが減少 38,000ショットまで延命

黒色化
乱反射の防止

画像認識処理対応 マットな黒色で乱反射防止

- コーティングとは異なる、黒い酸化膜が乱反射を防止
- 下地のカナック処理層により、耐摩耗性も十分に得られる

処理実績

ヒータープレート、ヒートコマ、吸着プレート、センサー取付用ブロック 等



2024-05-10

